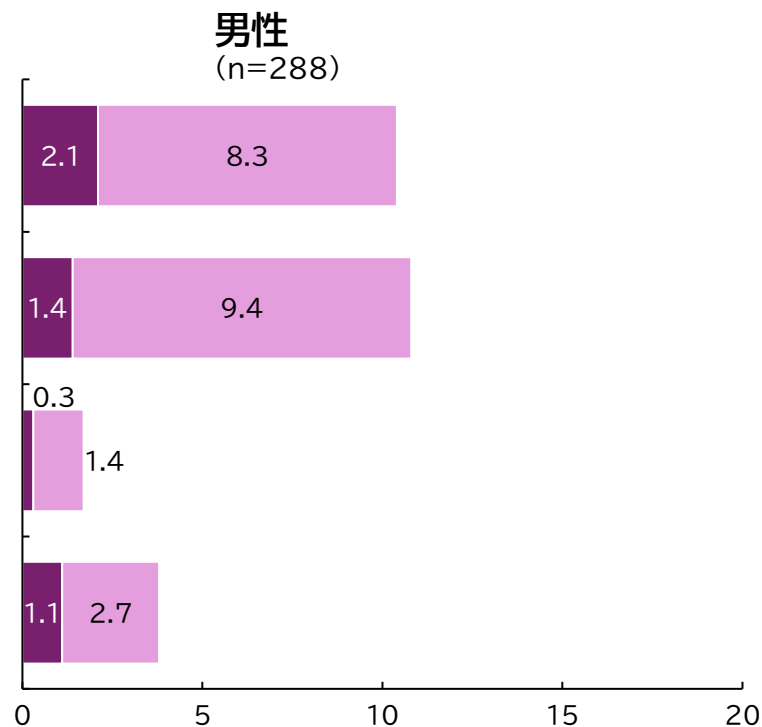
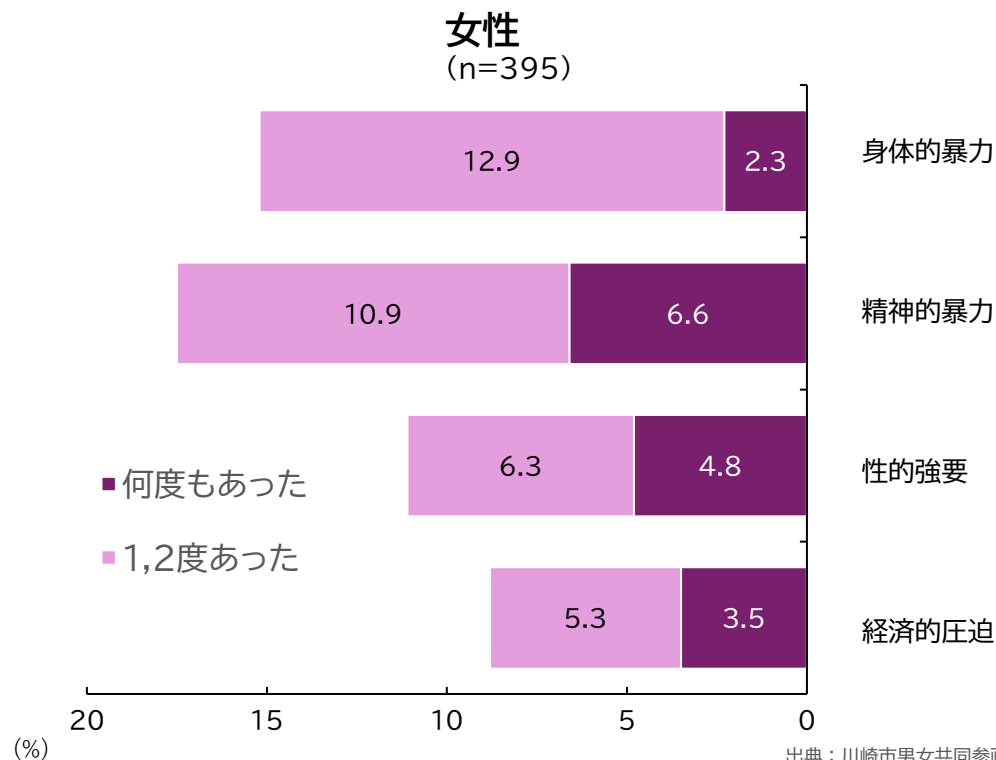


ジェンダーに基づく 暴力被害経験

DV被害実態(種類別)

2023年時点



出典：川崎市男女共同参画センター「かわさきの男女共同参画に関するアンケート調査報告書2023」を元に作成

身体的暴力	「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど身体に対する暴行を受けた」
精神的暴力	「人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた」
性的強要	「いやがっているのに性的な行為を強要された」
経済的圧迫	「生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなどの経済的圧迫を受けた」

これまでにDVを受けたことがある割合を種類別に見ると、身体的暴力と精神的暴力は男女ともに1割を超えており、女性はより被害経験が多く、何度も受けた割合も多いことがわかりました。

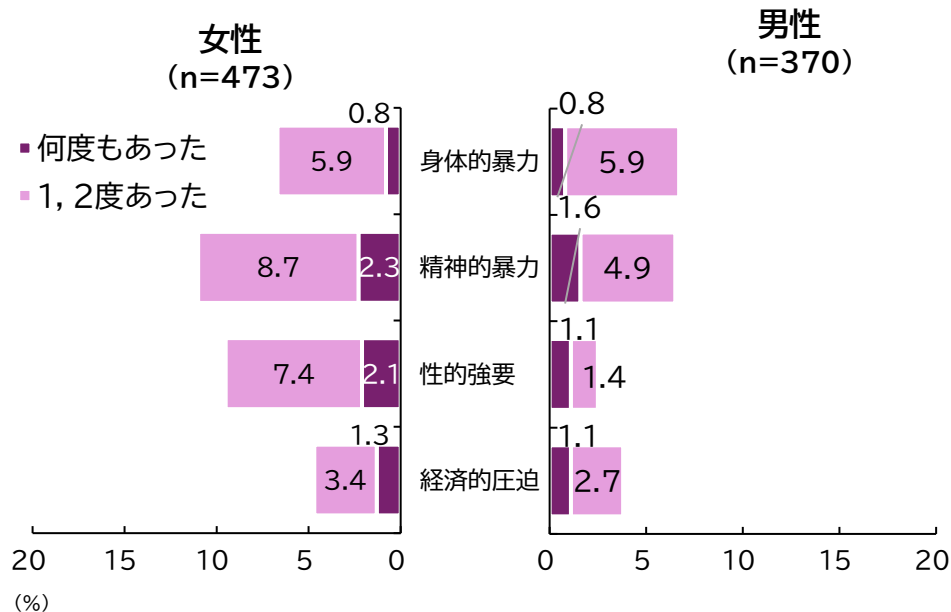
川崎市男女共同参画センター
「かわさきの男女共同参画に関するアンケート
調査報告書2023」



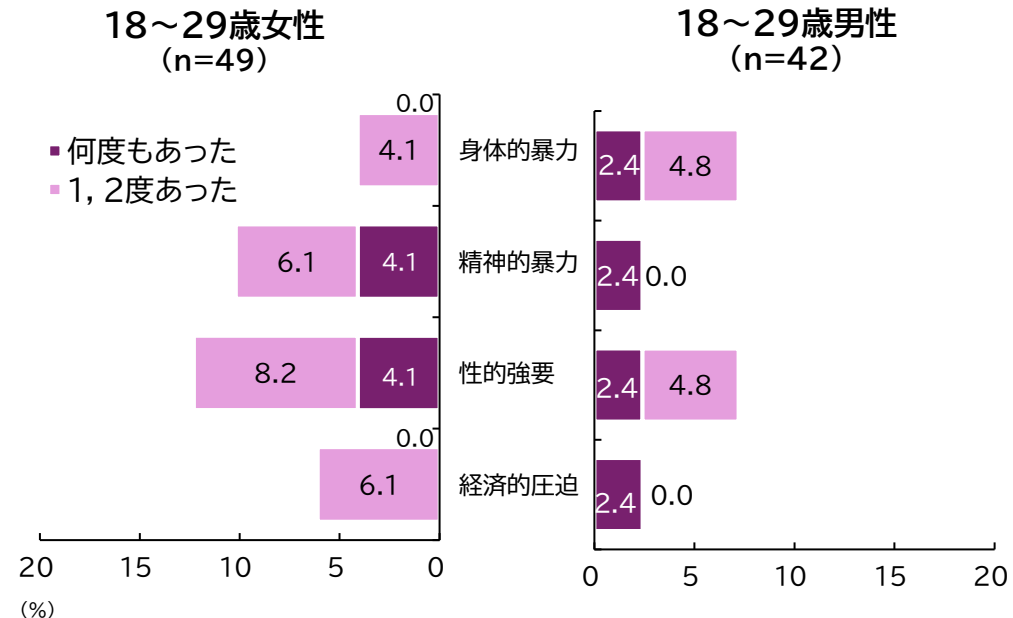
デートDV被害実態(種類別、若年層)

2023年時点

デートDV被害実態(種類別)



若年層(18~29歳)のデートDV被害実態



出典：川崎市男女共同参画センター「かわさきの男女共同参画に関するアンケート調査報告書2023」を元に作成

身体的暴力 「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど身体に対する暴行を受けた」
精神的暴力 「人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた」
性的強要 「いやがっているのに性的な行為を強要された」
経済的圧迫 「給料や貯金を勝手に使われる、デート代や生活費を無理やり払わされるなどの経済的圧迫を受けた」

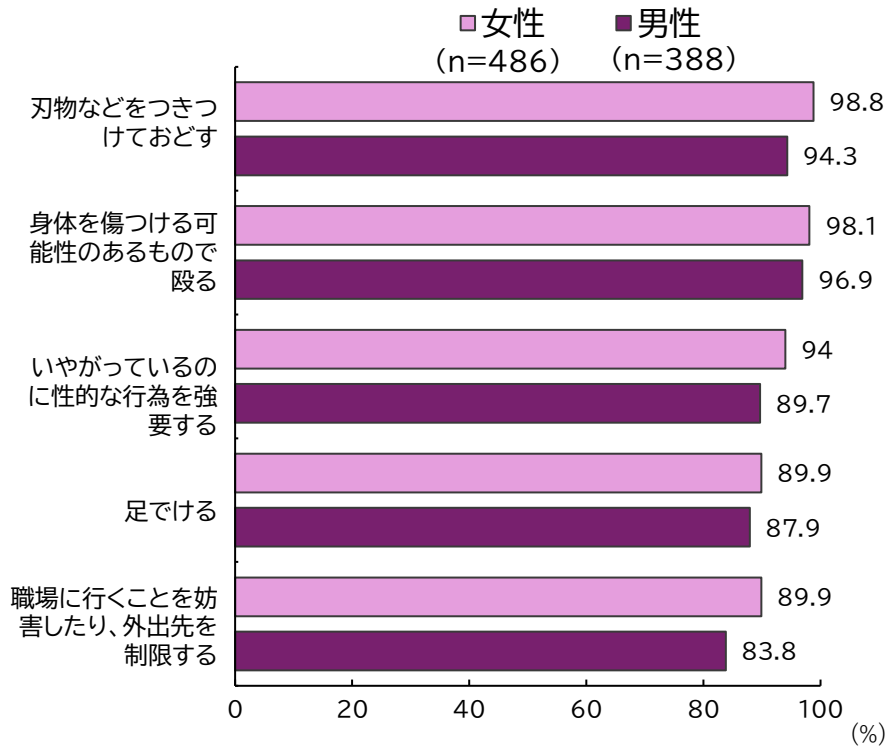
これまでデートDVを受けたことがある割合を種類別にみると、「精神的暴力」と「性的強要」で、女性(11%、9.5%)、男性(6.5%、2.5%)と、女性はより被害経験が多いことがわかります。若年層(18歳~29歳)でみると、女性では「精神的暴力」に加えて、「性的強要」を受けたことがある人も1割を超えています。

DV、デートDVについての認識

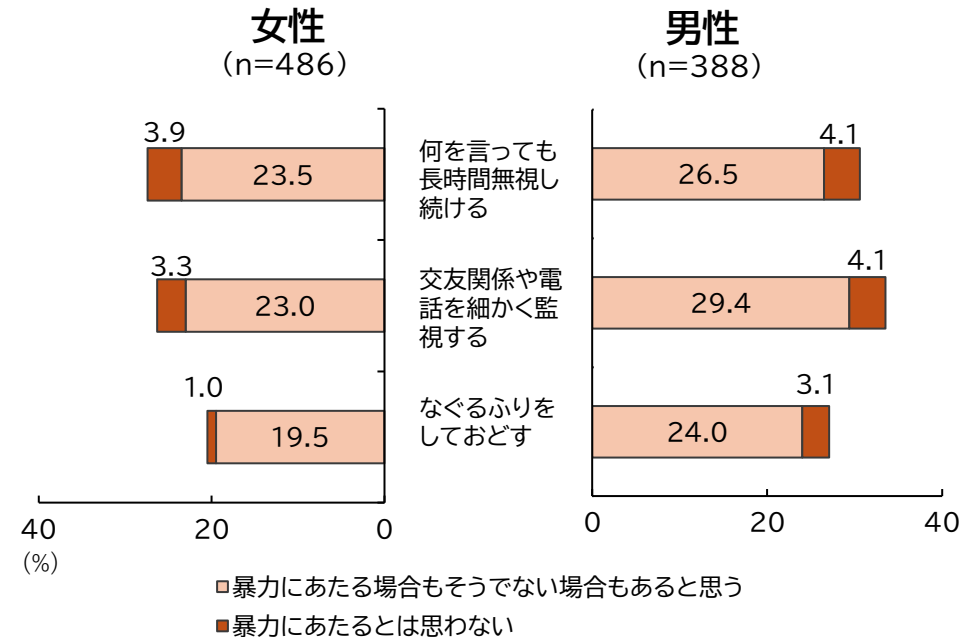
2023年時点

DVについての認識が高い項目※

※それぞれの行為が暴力にあたるかについて、「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した割合



DVについての認識が低い項目



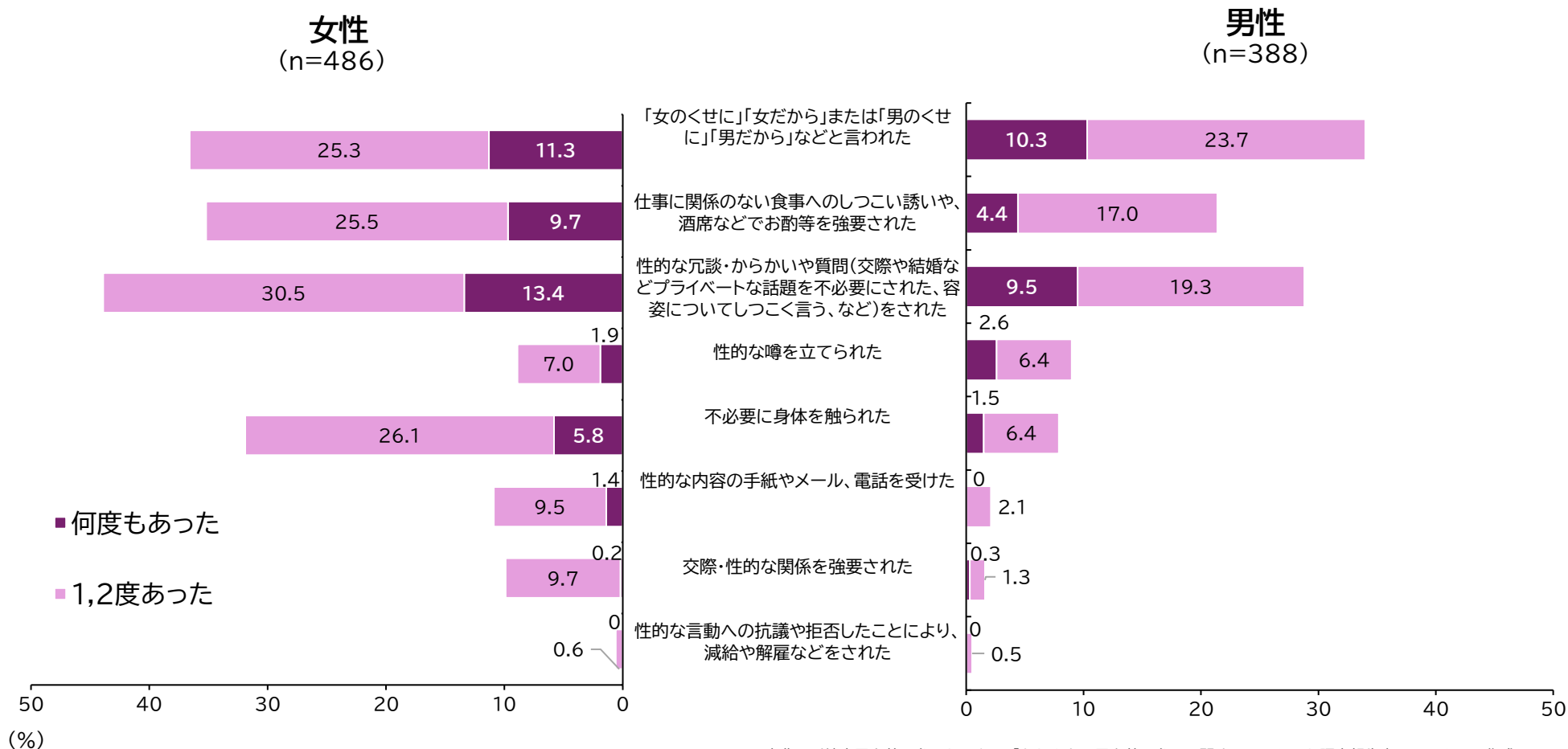
出典：川崎市男女共同参画センター「かわさきの男女共同参画に関するアンケート調査報告書2023」を元に作成

DVについて、〈どんな場合でも暴力にあたる〉と思っている行為として、男女ともに9割以上が「刃物などをつきつけておどす」と「身体を傷つける可能性のあるもので殴る」と認識しています。「いやがっているのに性的な行為を強要する」「足でける」「職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する」も認識が高いものとして挙げられます。

一方で、「何を言っても長時間無視し続ける」「交友関係や電話を細かく監視する」「なぐるふりをしておどす」などについては、〈暴力にあたる場合も、そうでない場合もある〉または〈暴力にあたるとは思わない〉と思う割合が2割～3割台を占め、暴力であるとの認識が相対的に低く、男性ではより低い傾向にあります。

職場や日常生活での性的な嫌がらせの被害経験

2023年時点

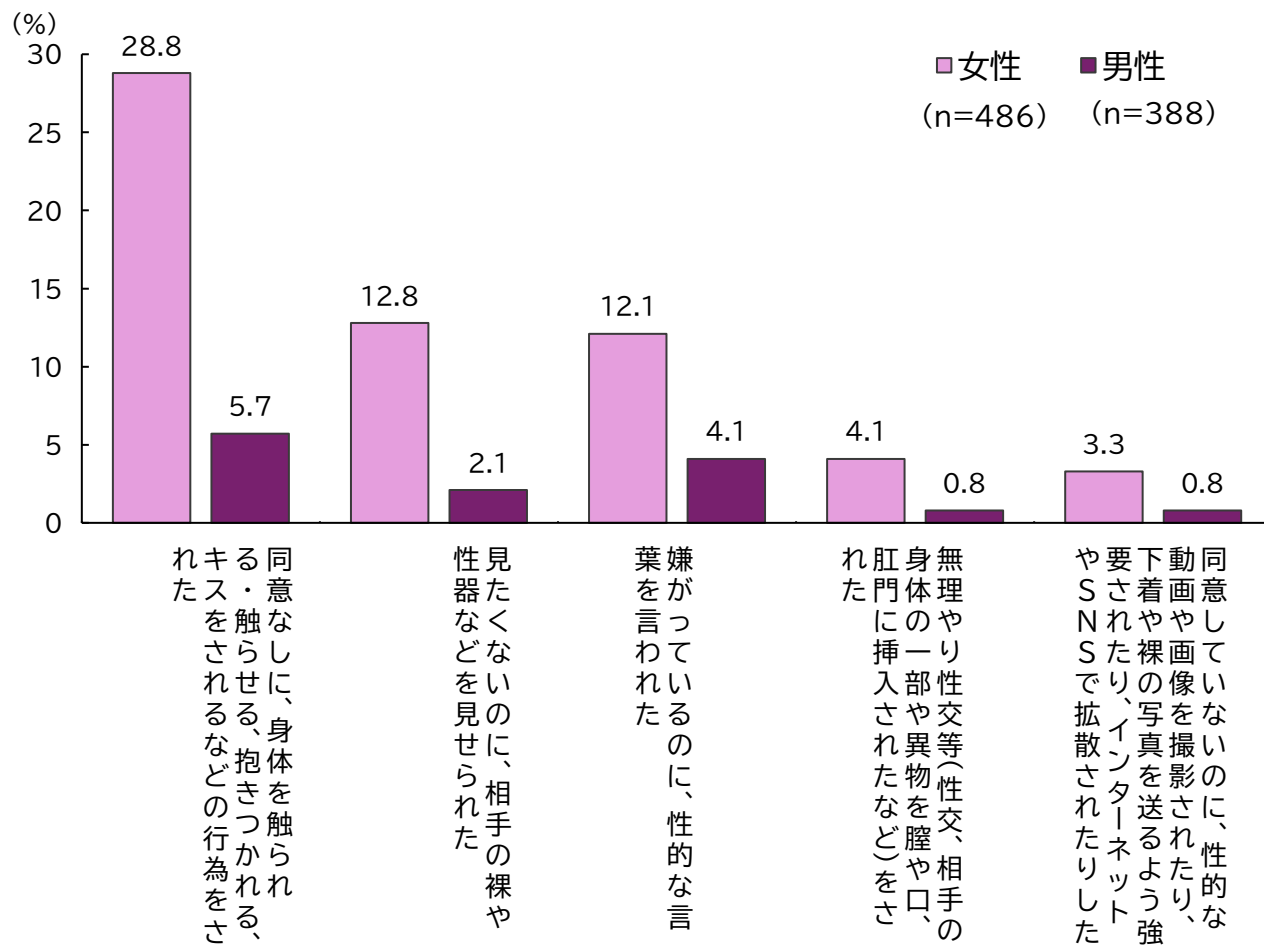


出典：川崎市男女共同参画センター「かわさきの男女共同参画に関するアンケート調査報告書2023」を元に作成

職場や日常生活において性的な嫌がらせを受けた経験のある人は、「性的な冗談・からかいや質問(交際や結婚などプライベートな話題を不必要にされた、容姿についてしつこく言う、など)をされた」女性は43.9%、男性で28.8%でした。「女のくせに」「女だから」または「男のくせに」「男だから」などと言われた経験のある人は、男女ともに30%台でした。

性暴力の被害経験

2023年時点

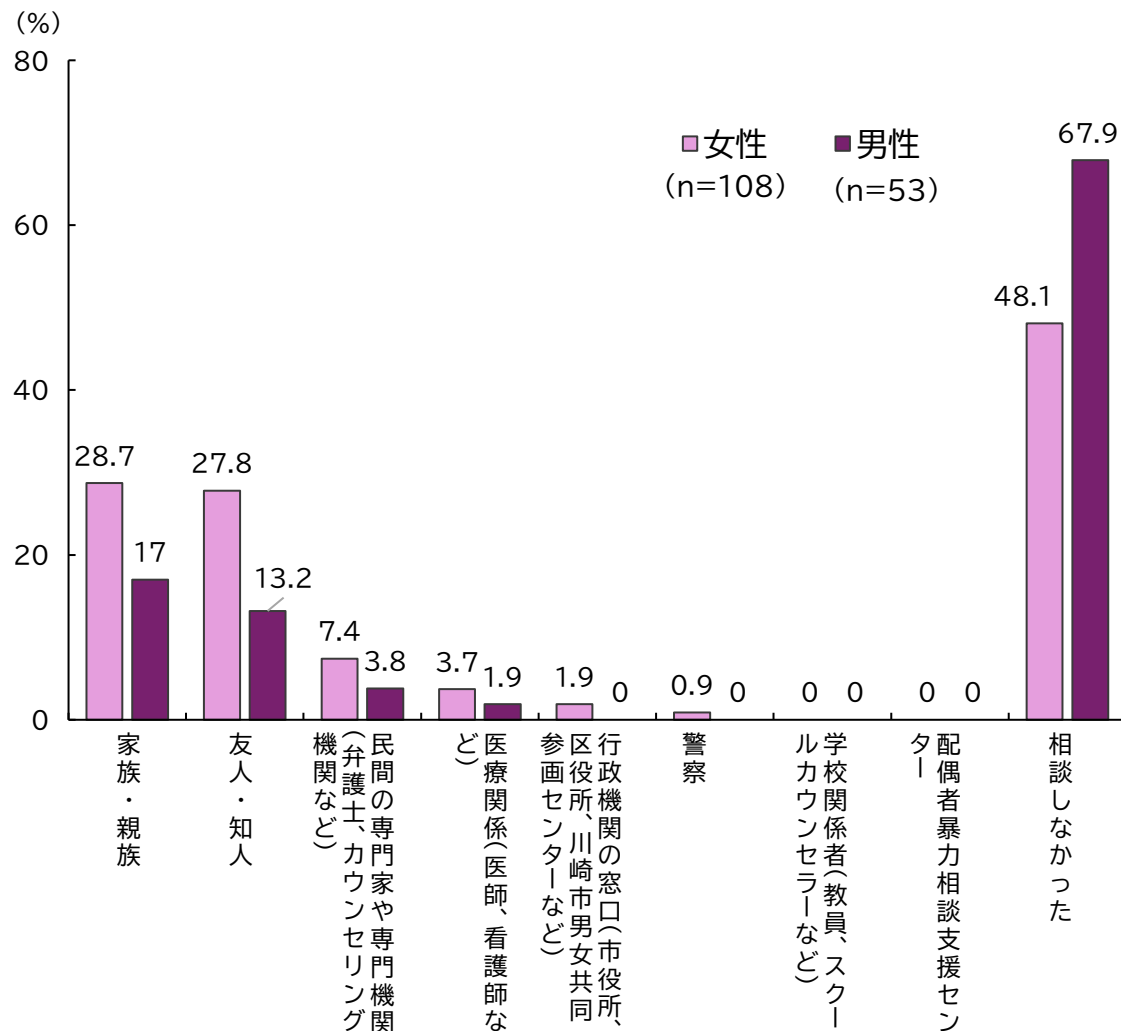


性暴力被害について、女性では、「同意なしに、身体を触られる・触らせる、抱きつかれる、キスをされるなどの行為をされた」が28.8%、「見たくないのに、相手の裸や性器などを見せられた」が12.8%、「嫌がっているのに、性的な言葉を言われた」が12.1%でした。

出典：川崎市男女共同参画センター「かわさきの男女共同参画に関するアンケート調査報告書2023」を元に作成

DV被害の相談先

2023年時点

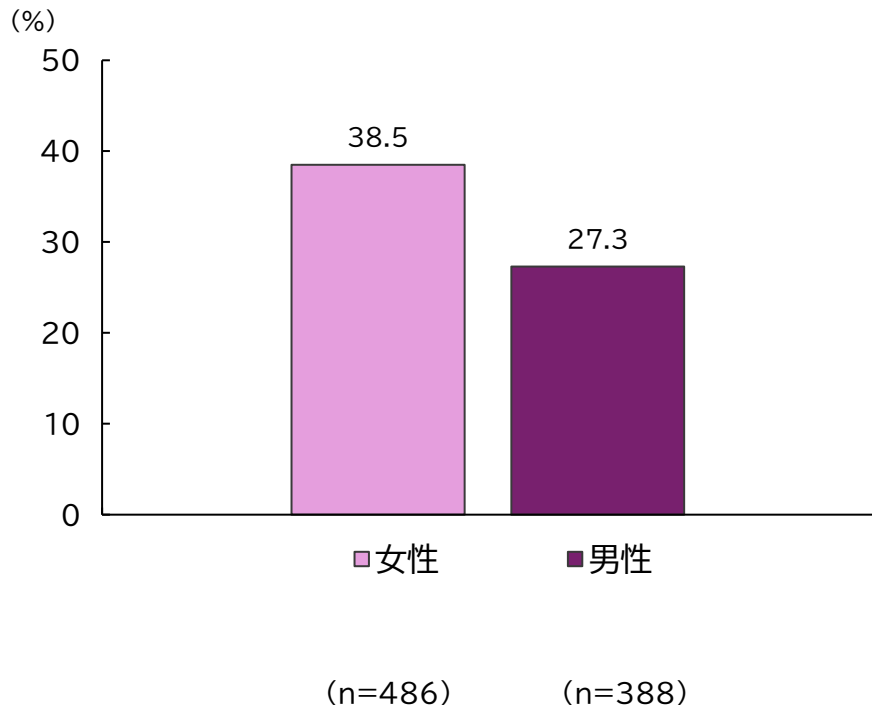


DV被害の相談先として、男女ともに、「相談しなかった」が最も多く、女性の48.1%、男性の67.9%がどこにも相談していません。次いで、男女とも「家族・親戚」が一番多く、「友人・知人」が次に多く挙げられました。

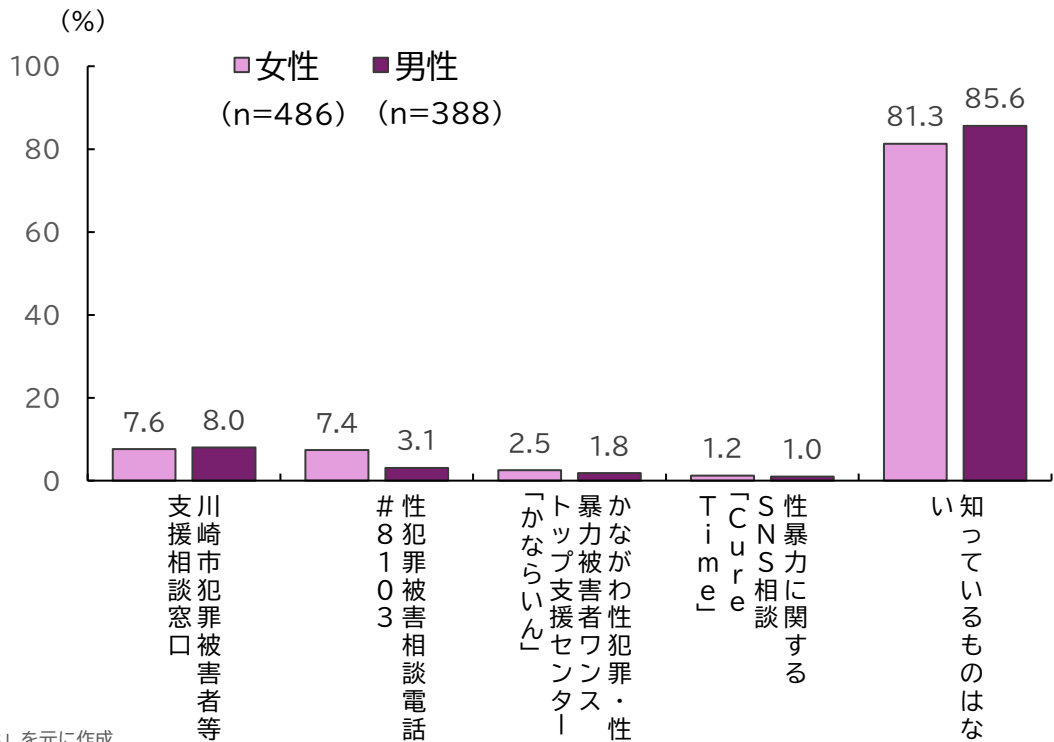
DV・性暴力被害相談窓口の認知

2023年時点

DV相談窓口の認知



性暴力被害相談窓口の認知



出典：川崎市男女共同参画センター「かわさきの男女共同参画に関するアンケート調査報告書2023」を元に作成

『DV相談窓口』の認知度は、女性のほうが知っている割合が高いものの、女性でも38.5%、男性では27.3%に留まっています。
また、『性暴力被害相談窓口』については認知度が1割を超えるものはなく、男女ともに「知っているものはない」が8割以上となりました。

DV・性暴力被害相談窓口

性暴力のこと、DVのことは公的機関や支援団体に相談してよい問題です。「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を知らせる」ことが“予防への第一歩”と私たちは考えています。

川崎市 DV 相談支援センター

☎044-200-0845

月～金曜日 9:30 ～ 16:30
(祝日および年末年始を除く)

ハロー・ウィメンズ 110 番

☎044-811-8600

月～木曜日 10:00 ～ 15:00
金曜日 15:00 ～ 20:00
日曜日 12:00 ～ 17:00
(土、祝日および年末年始を除く)

✓悩みを抱えている女性のための電話相談

実施者：川崎市男女共同参画センター

男性のための電話相談

☎044-814-1080

水曜日 18:00 ～ 21:00
(祝日および年末年始を除く)

✓男性相談員が相談に応じます

実施者：川崎市男女共同参画センター

性犯罪・性暴力被害者のための ワンストップ支援センター

はやくワンストップ

☎ #8891

- ✓最寄りのセンターにつながります
- ✓通話料無料
- ✓産婦人科医療やカウンセリング、
法律相談などの専門機関とも連携

性犯罪被害相談電話

ハートさん

☎ #8103

- ✓24時間365日対応
- ✓管轄都道府県の警察の専門相談
窓口につながります
- ✓警察への届け出を迷っていても
相談可能

キュアタイム

🖥️ <https://curetime.jp/>

- ✓匿名でチャット相談可能
- ✓毎日17:00～21:00
- ✓10ヶ国語対応

